

比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会 会議録

会議の名称	令和7年度第1回比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会
主な議題	(1)委員長・副委員長の選任について (2)調査結果の概要について (3)次年度調査について
開催日時	令和6年8月28日(水) 午後1時57分～午後16時30分
開催場所	国指定史跡小倉城跡
会議録の公開 (非公開・一部 非公開)とその 理由	全部公開
出席委員	落合義明委員長、橋口定志副委員長、宮田毅委員、田中信委員
事務局	新井克仁 教育長、正木達也生涯学習課長、田中和浩生涯学習課主幹、高橋 周良生涯学習課主事、石川安司専門員
オブザーバー	埼玉県教育局教育総務部文化財・博物館課主幹 末木啓介
記録方法	要点筆記
【審議等内容又は概要】 1 開会 高橋主事 2 あいさつ 新井教育長 3 委嘱書の交付 4 議事 (1)委員長・副委員長の選任について 比企城館跡群小倉城跡調査指導委員会規則第5条に基づいて委員が互選する。 →立候補者が出なかった。 →事務局案で委員長は落合委員、副委員長は橋口委員に決定 (2)令和5年度発掘調査の概要について ・石川専門員がパワーポイントで説明 ・令和4年度調査の残りの枳形虎口と枳形の外側の調査 ・南袖は残りが悪く、当初の形を残していない。 ・北袖は木の根の影響で残りが悪い。しかし、木の根が無いと石が落ちてしまう。 ・北袖の石積みには細やかな折れがある。 ・北袖には川から運んだと思われる石があった。 ・北袖上部には略方形の石積みを伴う土壇がともなう。 ・推定門袖下層と虎口外面の下層に石列を検出した。 ・枳形の通路からカワラケ出土。大窯2から3と推定される瀬戸・美濃産の播鉢が出土。	

- ・虎口正面に石組の排水路を検出。
- ・虎口前の通路には硬化面があってその下に分厚く片岩碎石が入っていた。
- ・道幅は斜面と切岸によって判明している。ただし虎口前面は崩落材の都合で掘れない。

(3) 令和 6 年度発掘調査について

- ・調査予定が遅れている状態であるため、令和 6 年度調査は郭 2 のみに絞った。
- ・郭の長軸方向に向く部分、短軸方向に向く部分で 1 m 程度のトレンチを入れる。
- ・推定櫓台の部分は建物跡の可能性があるので、幅広く発掘箇所を設定した。
- ・C の部分は緑泥片岩の石が露出し、遺物が散乱していることから発掘箇所として設定。
- ・St は虎口と思われる地点に入れた。
- ・令和 7 年度以降、A（郭 3）は石積の絡みがあるので構造把握のための調査を行う。
- ・B（郭 2 南の山腹辺り）にも石積があるので、そこも確認する。
- ・進め方については埼玉県と文化庁との協議を令和 6 年度以降の予定で進めていきたい。
- ・推定櫓台下の階段状になっている地点（1～3）について、ボーリング調査をすると 30 c m 程度で何かに当たるため、調査対照とした。
- ・11、12 については土塁が石積を伴うのか、ただの岩盤なのか確認するために設定した。
- ・11、12 については後回しでも良いのでは？
- ・今後は石積みの専門委員会も開きたい。
- ・そのためにもデータが必要なため、石垣カルテなどを作成することも今後の課題である。

(4) その他

- ・令和 5 年度の議事録については資料をつけて修正
- ・次回会議は調査前の 12 月頭あたりにする予定

その他審議会等 の長が必要と認 めた事項	配布資料（PDF 形式） ・次第 ・現地説明図面、写真資料
----------------------------	-------------------------------------

上記内容について、相違ないことを証します。

令和 7 年 月 日
